

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年												2026年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~8日	2月 ~15日	2月 ~22日	3月 ~1日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	18	22	6	7	13	7
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	52	51	19	13	15	8
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	12	17	1	2	8	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	13	11	3	1	3	5
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	1	8	1	4	3	3

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和8年第9週(2月23日~3月1日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	1		3		2	1	2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	1	レジオネラ症	1							1
五類	11	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1	
		急性脳炎	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2			1		1		
		梅毒	1					1		
		百日咳	5					2	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

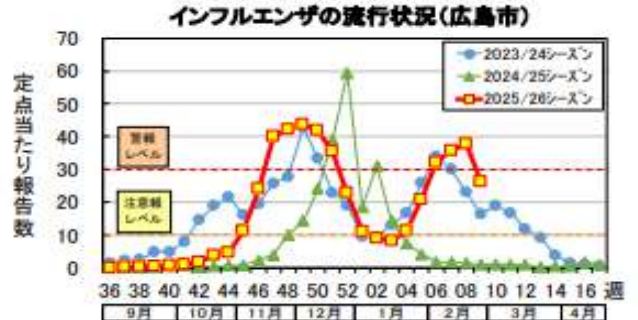
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり26.15人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いており、注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は29件の報告がありました。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第9週 A型:7人、B型:220人



2 感染性胃腸炎

定点当たり7.81人と、前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.19人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、苺舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね 1.2以上の増減
												急増	急減	
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2098	61.71			小児科	突発性発しん	2	0.10	0.14		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.5～2の増減
	インフルエンザ	889	26.15	5.89			ヘルパンギーナ	-	-	0.06		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	18	0.53				流行性耳下腺炎	-	-	0.02		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	11	0.52	0.39		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
	咽頭結膜熱	4	0.19	0.41			流行性角結膜炎	4	0.50	0.45		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	2.19	1.09		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
	感染性胃腸炎	164	7.81	7.64			無菌性髄膜炎	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
	水痘	6	0.29	0.04			マイコプラズマ肺炎	2	0.33	0.17		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
	手足口病	-	-	0.21			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
	伝染性紅斑	-	-	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	0.13		急増	急減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
												横ばい	急減	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科 定点数	21
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	20	70歳代、70歳代・市外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	16	10歳代・O血清群不明
5	急性脳炎	1	2	10歳未満
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	40歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	70歳代
5	梅毒	1	14	20歳代
5	百日咳	2	14	10歳代、30歳代